

「なぜ人間に悪い心があるのか！？」

2025.1.29
聖書に学ぶ2
創世記 3:1~13

神が愛の神であるなら、こんなことがどうして起こるのかと思ったことがありますか。また「原罪」という言葉を聞いたことがありますか。人はサタン(悪魔)に騙されて「原罪」(罪を持って生まれる)を持ち、受け継いでいるのです。

聖書は神様に敵対するものとして、サタンの存在をハッキリ示しています。クリスチャン作家の CS ルイスは、サタンは自分の存在を極端に示して人を恐れさせるか、反対にサタンなどいないと思込ませるかの方法を取ると言っています。このサタンに操られないためにどうしたら良いのでしょうか。

今日の学びの要点

- ・ アダムの子を受け継いでいる私たちですが、第2のアダムである主イエス・キリストによって復活のいのちに与り、みことばに従い、主に一切をお任せすることによって、サタンに勝利することができます。

I、神様との約束

1、創世記 1:28 で「すべての生き物を支配せよ」と言われた神様は アダムとどのような約束を人とされましたか。(創世記 2:15~17)

- ①エデンの園の木の実について…
- ②善悪の知識の木について…
- ③もし食べたらどうなると、神様は言われましたか。

II、サタンの誘惑と手口

1、イザヤ 14:12~15 を読みましょう。サタンとはどのようなものでしょう。何をしようと企んでいますか。

2、エバを騙した蛇は、アダムではなくエバに焦点を当てています。何と言っていますか。(創世記 3:1)

①賢い蛇の「園の木について」の質問に、エバは何と応えていますか。（創世記 3:2）

②蛇のエバを騙すやり口はどのようなことでしょうか。（創世記 3:4）

- ・神のみことばを疑わせる。
- ・神のようになれると、誘惑する、問いかけてくる。
- ・これを食べるとどうなるか、期待させる。
- ・弱みを突いてくる。

③人が善悪を知るようになることは、神の目になぜいけないことなのでしょう。

神が造られた状態をそのまま受け入れられなくなる。

善悪を自分で判断して、自分たちが裸であることを恥じた。そして、ダメだと思った。隠れた。

神様の前に死に、光がない。見えない自分が判断すると、保身、自己養護に傾いてしまう。

3、エデンの園に神様はどうして「善悪の知識の木」を置かれたのでしょうか。

人には自由が与えられているが、超えることが出来ない一線がある。人間はどこまでも人間であり、

神のように人はなれない。高慢に対する警告。自分の判断と決断でそれを守ることが求められていた。

Ⅲ、神様が備えられた第2のアダム

1、主イエス様はサタンの誘惑にどのように勝利されましたか。

①マタイ 4:1～11 を読みましょう。

②どのような時も、自分で判断されなかった。（1ペテロ 2:23）

2、1コリント 15:45～50 には、いのちを与える御霊である最後のアダムによって、天に属するものとされることができます。